

第3回議会報告会

今年度は、11行政区での議会報告会に加え、3団体との意見交換会「まちづくり車座トーク」を開催した。

「人口減少問題」を主テーマに、「女性の視点からの町の課題」や「各産業の現状」など、249件のご意見を頂いた。



議会報告会（行政区）

【出席者数】

▼議会報告会

11行政区 192人

▼まちづくり車座トーク

女性団体 33人

農業団体 24人

商工業団体 25人

【ご意見の一部】

▼町外からの転入者を増やす方策

・人口減少対策は他市町より特化した策が必要。町有地を破格の値段で売り成果が見えてきた町もあり、検討する時期だ。

・新築、改築への支援は、人口増加の効果が期待できる。加えて、親や子供との同居による人口流入にも、支援があれば一層の効果が期待できる。

・子育て環境が整えば魅力ある町になる。図書館や児童館など施設はある。どう工夫して他市町との差別化を図るかということだ。

▼現在住んでいる人が長く住み続けられる方策

・買い物難民対策を考えているか。町で移動販売車を出すなどの案が必要では。

・高齢化しても離農しても、交通や除雪対策が良ければ住んでいられる。



まちづくり車座トーク（商工業団体）

▼新十津川町を広くPRするための観光方策

・現在の登山ブームを考え、ピンネシリマラソンだけでなく、従来あった山開き登山を復活させるなどして、ピンネシリを町内外に発信すべき。

・ふるさと公園は、スキー場をはじめスポーツ施設が整っているので宣伝すべき。各種大会の開催時には、振興公社が売店を開いて町の物産の販売をしては。

▼農業や商工業の振興で活気ある町を実現させる方策

・住リフォーム支援(助成)を町の事業として取り組むと良い。少ない補助金が大きな事業になっていく。

・異業種の若い人達の交流の場を作ってあげたい。
・道の駅を造れないか。農家にとって販売できる場所になる。

【アンケートに寄せられた声】

・意見交換会のテーマが事前には決まっていれば周知を。

・参加者が少な過ぎて、活発な意見交換の場を確保できていない。

・若い人に参加してもらい、意見をもっと多く聞きたい。

・議員にはもっと頑張ってもらいたい、良い町に導いていただきたい。

・報告会は、文章や広報だけでも良い。

・小中学生に議会を傍聴させてほしい。

今回の報告会では、若い方とご高齢の方同士、あるいは異業種間で、お互いの暮らしや事業を案ずる声を多く聴いた。

皆様が町に寄せる思いを真摯に受け止め、議会活動に反映させることで、議会報告会の成果としたいと考える。



まちづくり車座トーク（農業団体）